

## 加美町（中新田中学校区・鳴峰中学校区）の取組

### 【目標】

加美町立小学校8校、加美町立中学校2校、町内県立高等学校1校を対象に、加美町の子ども像「夢や志を持ち、郷土愛にあふれ、可能性に挑戦し続けるやさしくたくましい子ども」の育成を目指し、次の志教育テーマ、目的、心得のもと、子どもたちに将来を生きる方向性を主体的に定めさせていく志教育を推進する。

（テーマ）「夢をいだいて、大海を目指そう」

～ふるさと加美町に誇りを持ち、ふるさとを語る大人に～

（目的）「体験活動・交流活動・探究活動を通して、

子どもたちの志を高める」

（心得）

- ・ になりたい自分、自分の生き方を追究する
  - ・ 良い習慣を身に付ける（良いことを自分が自分にし続ける）
  - ・ 主体的に考える力を育てる
  - ・ 郷土愛を深める
  - ・ 感謝の心を醸成する
  - ・ 社会に貢献する力を育む
  - ・ 自己肯定感を高める
  - ・ 向上的態度を養う
- ・ 自分が学びたいことを学ぶ
  - ・ まちの人たちと一緒に学ぶ
  - ・ やりたいことに挑戦する
  - ・ みんなで知恵を絞って考える
  - ・ 答えは自分で見つける

（令和7年度の方針）

探究し続けるまち加美町では、各学校の「総合的な学習（探究）の時間」を中心に地域の教育力を多様な方法で学校教育に取り入れ、小・中学校及び高等学校の各発達段階に応じて子ども主体の探究的な学びや地域と連携し課題解決に取り組む『実践体験型 PBL』等による志教育を実践し積み重ねる中で、子どもたちに将来を生きる方向性を主体的に求めていく力を高めさせていく。

### 【取組の概要】

（1）プロジェクトの組織的な推進

【企画調整会議】年3回（校長会担当、教育総務課）

→プロジェクトの方向性、各種会議内容の検討

【推進会議】年3回（校長会担当、各学区チーフ・サブチーフ教諭、地域代表者、

県教育庁、北部教育事務所、教育総務課、生涯学習課）

→プロジェクトの現状の確認、今後の方向性の検討

【プロジェクト会議】年3回（校長会担当、各校担当、教育総務課）

→・子ども主体の探究的な学び及び地域と連携し課題解決に取り組む実践体験型 PBL の実践と共有（会議での実践の共有、年度末作成「実践集」での共有）

- ・ 子供の学びをつなぎ、広め、深める発表会「探究フェスティバル」の企画と運営
- ・ 研修会の開催（外部講師の「志教育スイッチオン」は町教委で開催）
- ・ 意識調査実施と分析（対象：小3～中3児童生徒、保護者、教職員）

（2）各校での実践（プロジェクト会議での取組の共有と、年度末「実践集」での町内共有）

※各校での「実践体験型 PBL」を取り入れた実践の一部抜粋（主な単元と取組）

＜加美町立中新田小学校＞ 4年生、60時間



「音楽の町 加美町」

まず、町の有名なものや特色を考えたところ、バツホール、国立音楽院、ガラスバンド等音楽に関わる事物が複数挙げられた。実際にバツホールを見学し、個々の児童が良さや問題点を自分事として考え、改善策等をまとめ、発表し合った。

＜加美町立広原小学校＞ 4年生、25時間



「みんなに やさしい まち『福祉と志』」

「福祉」という言葉を調べ、何を知りたいかを考えることからスタート。社会福祉協議会の方や盲導犬ユーザーの方の話を聞いたり、福祉体験をしたりして、その後、より深く学びたい課題を設定して探究し、新聞にまとめ発表した。

＜加美町立鳴瀬小学校＞ 5年生、50時間



「農業で地域を豊かにしよう  
～農業の昔と今について調べよう～」  
農事組合法人KAMI Xの協力のもと、新旧の米作り体験を通して気付いたことから自分の課題を設定して探究し、フェスティバル等で発表した。

＜加美町立中新田中学校＞ 2年20時間、3年22時間



「中中生×加美町 元気プロジェクトⅡ・Ⅲ」  
2年時にフィールドワークを行い、町の魅力や課題を考え、地域活性化等のアイデアを企画する。3年時は具体的なアイデアを再検討し、実行に移す。その後、今後の地域との関わり方や自分の生き方をまとめ、文化祭やフェスティバル等で発表する。

＜加美町立東小野田小学校＞ 6年生、25時間



「地域の良さを再発見 ～加美町の未来 自分の将来を考えよう～」  
町役場を訪問し、町の良さや課題を知った後、グループで意見を交わし、探究課題を設定した。その後、取材先を決め訪問する等、課題解決を図り「10年後の未来予想図（提案書）」を発表した。一連の取組や地域の方から学んだことを振り返り、今後の自分の生き方について考えた。

＜加美町立西小野田小学校＞ 4年生、53時間



「調べてみよう 鳴瀬川のひみつ」  
鳴瀬川の知っていること、調べてみたいことを学級で共有し、実際に川を観察した。その後、自分の課題を設定し、同じような課題を持つ児童同士でグループを組み、仲間と協働で情報収集、情報の整理分析を行い、まとめ、発表した。

＜加美町立鹿原小学校＞ 全学年、2時間



「鹿原ワン田(ダ)ーランド(田植え体験)」  
農業組合法人アグリ神明の協力のもと、地域の米「つや姫」の特徴等の説明を聞いたり、体験学習をしたりして、地域や地域の方々のすばらしさを学ぶとともに、自らの生き方を考えた。

＜加美町立宮崎小学校＞ 3年生、20時間



「宮崎の農産物を知ろう」  
JA加美よつばの協力のもと、野菜農家等の見学を行い、質問したり、野菜作りの工夫や苦労を聞いたりして宮崎の農産物の魅力を学んだ。見学した中から選択した農産物について、グループでまとめ活動を行い、発表した。

＜加美町立賀美石小学校＞ 6年生、20時間



「加美町や賀美石の歴史を知ろう」  
町や賀美石地区等の歴史について、まず各々が身近な家族や地域の方々から情報を集めた。その後、学芸員による遺跡巡りと出前授業を受け、今までの情報を整理した。それから、グループで課題解決を図りながらまとめ、発表した。

＜加美町立鳴峰中学校＞ 全学年、30時間



「あい探」  
好き・得意を伸ばすことや自分のコンピテンシーや将来の夢に気づくこと等をねらいに全学年で個人探究を行った。担当教師は、最小限の支援に留め、個々の生徒が探究学習を進めた。発表会は自校生徒のみならず小学生や保護者、学校運営協議会の方々を招き、繰り返し発表する中で、課題への理解をさらに深めた。

＜宮城県中新田高等学校＞ 3学年 54時間 「地域スポーツ活性化プロジェクト」

○かみフェスへの出店（加美・中新田 B&G 海洋センター）  
○中新田を巡るサイクルコースの作成（加美町観光まちづくり協会）  
○中新田をスポーツで盛り上げよう（中新田児童館／秋まつり）  
○中新田・西町ミニデイでのレクリエーション（中新田・西町）  
4つあるミッションの中から、1年間を通して責任をもち努められるプロジェクトを選択し、仮説を立て様々な情報を得ながら計画を立てる。イベント・アクションを実行し、報告会で成果等を発表する。（中間・年度末）



(3) 探究フェスティバル「THE FES!!!!!!」開催による子どもたちの学びの共有

①ねらい

日頃の「総合的な学習（探究）の時間」を中心に組み込む体験学習や探究学習等で得た学びを発表し合い、仲間や地域と共有・意見交換をすることで児童・生徒が自らの未来を切り拓いていく力を育む一助とする。

②生徒実行委員会による企画・運営

実行委員として中学生15名が企画・運営に携わり、フェスティバルの広報活動や、当日の開会式等の運営に尽力した。第1回実行委員会では、「探究フェスティバル」という事務局サイドで決めた名称を、実行委員の生徒たちが「THE FES!!!!!!」という名称に改めた。

<発表学年と発表内容>

学校名	学年	発表内容
中新田小学校	5 学年	お米の魅力を発信しよう
広原小学校	6 学年	ふるさと と 私
鳴瀬小学校	5 学年	加美町の農業について調べよう
東小野田小学校	6 学年	地域のよさを再発見 ～加美町の未来 自分の将来を考えよう～
西小野田小学校	4 学年	たんけん、発見 鳴瀬川
鹿原小学校	6 学年	ニュース特番、愛、会い、会津
宮崎小学校	6 学年	受け継ごう！宮崎獅子舞
賀美石小学校	3, 4 学年	大黒舞を伝えよう
中新田中学校	3 学年	中学生×加美町元氣プロジェクトⅢ
鳴峰中学校	銚年志願者	あい（I・愛）探
中新田高等学校	2 学年	DXスキルを身に付けよう

(4) 「志教育スイッチオン」の開催

- ・外部講師（芸人）を招き、小学校5、6年生及び中学校全生徒を対象に「出前授業」1回実施
- ・小中学校教職員を対象に「研修会」を1回実施
- ・町民向け講演会「志教育スイッチオン町民ライブ」を1回実施

(主な目的と取組)

①児童・生徒向け授業の目的

- ・失敗を恐れず挑戦していく意識の醸成
- ・自分以外（家族や地域）に関心を持ち、探究する大切さを知る

②教員向け研修会の目的

- ・子どもの心をつかみ、やる気を引き出す手立てを学ぶ

③町民向け講演会10月4日（土）の目的

- ・子どもの挑戦を後押しする周囲のフォローの大切さを学ぶ

※発表テーマ「加美町愛」に、16名の小・中学生が立候補した。

※参観者は、約170名（町議会議員、学校評議員、PTA 役員、保護者、児童委員、区長 等）



<町民ライブの様子>

【成果と課題】

・意識調査の変容 肯定的な回答（6月実施→12月実施の変容）

- 各校の「総合的な学習（探究）の時間」が見直され、子どもたちの意識が変わってきた。
  - ・「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め、整理して、調べたことを発表する等の学習活動に取り組んでいる」の肯定的な回答  
 小5：80%→90%（+10%） 中3：82%→89%（+7%）
- 子ども主体の探究学習や地域と協働による体験学習により、生き方を考える力が育まれている。
  - ・「将来の夢や目標を持っている」の肯定的な回答  
 小6：79%→82%（+3%） 中3：63%→69%（+6%）
  - ・「将来社会人としてどのような生き方がよいか考えている」の肯定的な回答  
 小5：84%→86%（+2%） 中3：73%→83%（+10%）
- 各校での探究学習、教育活動を通して子どもたちの郷土愛や地域貢献への意識が一層育まれた。
  - ・「今、住んでいる地域のことを好きである」の肯定的な回答  
 中2：73%→78%（+5%） 中3：87%→89%（+2%）
  - ・「地域（加美町）や社会をよりよくするために何かしてみたいと思う」の肯定的な回答  
 小5：87%→91%（+4%） 中3：79%→82%（+3%）
- 「探究フェスティバル」により、保護者の志教育等への理解が深まった。
  - ・保護者の質問「総合的な学習の時間に、子どもが今取り組んでいる活動について知っている」の肯定的な回答  
 小学校保護者：56%→62%（+6%） 中学校保護者：47%→53%（+6%）
- 「志教育スイッチオン」では、外部講師（芸人）による出前授業を通して、子どもたちは失敗を恐れず挑戦していこうとする意識を高めた。「町民ライブ」には16名の子どもが立候補し、「加美町愛」等をテーマにユーモアを交えて堂々と発表し、町民に元気を与えた。
- 志教育を通して、「自分はやればできる」、「人の役に立ちたい」という子どもを育みたい。
  - ・「自分には、よいところがある」の肯定的な回答の一部の学年は良くなっているが、依然として小学校段階では高学年ほど低い数値となっている。
  - ・「人の役に立つ人間になりたいと思う」の肯定的な回答も一部の学年で若干良くなったが、大きな改善が見られなかった。
- 失敗したくないと感じている子どもや、学びを発信することに苦手意識を感じている子どもが一定数いる。志教育スイッチオンを通して、失敗を恐れず挑戦しようとする子どもを育みたい。
- 探究フェスティバルは、今年度の反省を踏まえ、子どもたちが学びを深め合える機会としたい。